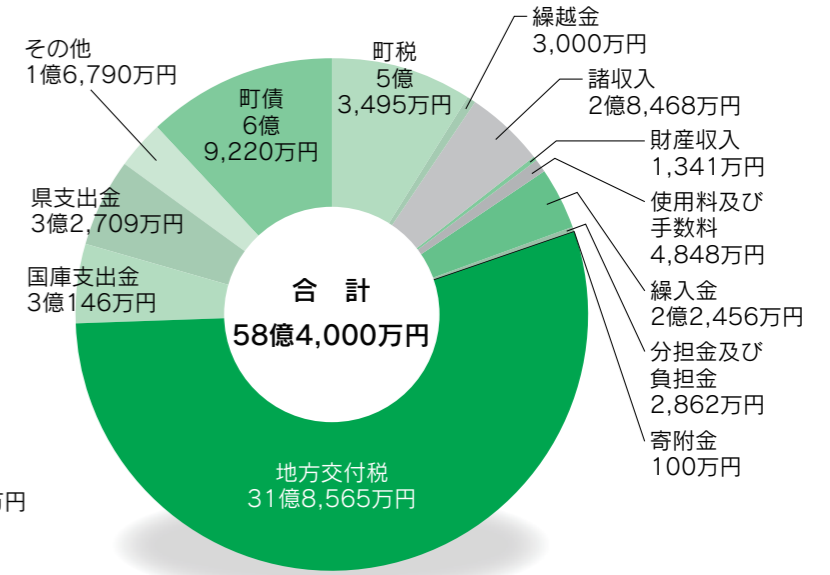
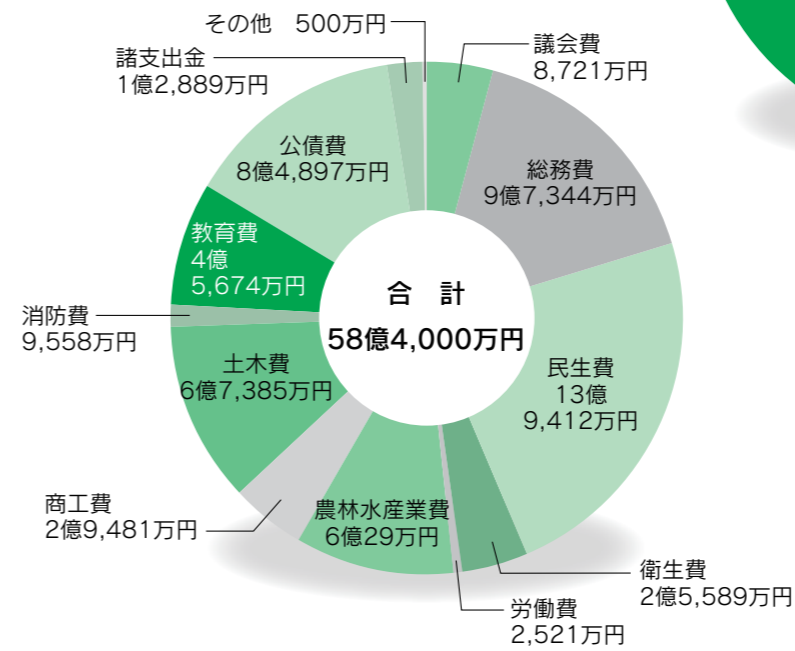


平成26年度各会計予算総括表

◆一般会計 歳入◆



◆一般会計 歳出◆



◆各特別会計予算◆

会計名	予算額
国民健康保険事業勘定特別会計	11億5,592万円
介護保険事業勘定特別会計	12億6,097万円
後期高齢者医療特別会計	8,419万円
沢目財産区特別会計	594万円
簡易水道事業特別会計	9億2,974万円
公共下水道事業特別会計	3億3,190万円
農業集落排水事業特別会計	8,395万円
漁業集落排水事業特別会計	6,322万円
合併処理浄化槽事業特別会計	319万円
診療所特別会計	7,404万円

賛否が分かれた予算の採決結果

賛否が分かれた予算について掲載しています。議長は採決には加わりません。

会計名	議員名													議決結果	
	松岡清悦	見上政子	柴田正高	丸山あつ子	門脇直樹	腰山良悦	皆川鉄也	福司憲友	山本優人	佐藤克實	阿部栄悦	鈴木一彦	芦崎達美		須藤正人
一般会計	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
国民健康保険事業勘定特別会計	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
介護保険事業勘定特別会計	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
後期高齢者医療特別会計	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

予算特別委員会での 主な質疑

総務常任委員会

質問 職員の再任用について、職員が仕事しづらくないか。若い人を採用したらどうか。また、どのような仕事をするのか。

回答 国からの要請もあり、公的年金の支給開始年齢が段階的に引き上げられるため、退職した職員の無収入期間について再任用制度を活用するものである。民間では既に義務化されている高齢者雇用制度の趣旨に則り、役場も一事業所としての責務があると考え実施するものである。若い職員の採用のバランスも考慮しながら実施するもので、職員が仕事しづらくないかという点については、それほど心配していない。

再任用職員は、豊富な知識や経験があることから、例えば専門的な部署や仕事に、また通常の業務をこなしながら指導的な面でも力を発揮してほしいと考えている。

質問 ふるさと納税の特産品はどのようなものを考えているのか。

回答 また、寄付金額によって3個までもらえるが、事務的に煩雑にならないか。

回答 アフビの加工品、梨、水産加工品などが考えられる。このリストを寄付者に送り、希望のもの役場が業者に連絡し、送付してもらうので、事務的には煩雑にはならない。

質問 ソーラーパネルが各学校に設置しているが、統合により無駄になるのではないか。

回答 避難所に指定されているので無駄にはならない。

質問 街灯の新設・更新事業補助金の対象は。

回答 自治会からの請求により半額を補助する制度である。

質問 「市町村子どもの国づくり支援事業補助金」はどのような事業に充てられるか。

回答 平成27年度までの3か年事業で、学校の特別支援教育支援委員の賃金や乳児健診の費用に充当している。

産業建設常任委員会

質問 ブナの森公園も修繕が必要な箇所が目立つ。最低限の修理をしてはどうか。

回答 昨年度は悪天候及び林道の土砂崩落等オー

ブンできなかった。平成26年度も林道状況を確認し、必要であれば6月補正予算で対応する。

質問 ジオパーク推進費は多額予算が計上されているが、投資に見合う運用効果はあるのか。

回答 JRが実施する「駅からハイキング」や、第一観光が実施する着地型ツアーコースとしても取り組まれており、徐々に知名度は上昇してきたと思われる。

質問 観光以外にも町内の小中学校へ出前講座を実施するなど、教育素材としての活用もあるので、効果がないわけではない。

質問 世界ジオパーク認定を目指した場合、今以上に事業費が膨らむのが心配である。

回答 日本ジオパーク認定を目指した当初は過疎

対策事業債を、昨年度からは市町村振興助成金を充当しているので町の負担は少ない。

質問 平成25年度の緊急雇用対策事業費のうち、日本白神水産（アフビ）へはいくら支払っているのか。

回答 3人の新規雇用で228万円である。

質問 ブランド開発した商品はすでに販売されているのか。

回答 すでに販売している商品もあれば、これから販売する商品もある。

教育民生常任委員会

質問 社会福祉協議会補助金が増額となっているが内容は。

回答 基本的に社会福祉協議会本体の人員費増による。